

## 疫学研究のお知らせ

私達は、下記のように疫学研究を実施しております。本研究は、南相馬市立総合病院倫理委員会における承認を得た上で、個人情報を持定できない形で行っております。しかし、該当の方がご自分の情報を使用して欲しくない場合は、これを拒否することも可能です。

### ・研究計画名

東日本大震災と福島第一原子力発電所事故が、乳癌患者の治療プロセスに与えた影響と患者背景因子に関する検討

### ・研究の意義・目的

本研究の目的は、東日本大震災と福島第一原子力発電所事故が、浜通り地区の乳癌患者の治療プロセスに与えた影響を評価することです。先の調査で、震災後、震災前と比較して、初回受診が遅れる乳癌患者が増加していたことがわかっています。このような受診の遅れは、診断や治療の遅れを介して、乳癌患者の予後（今後生存可能な期間）短縮につながる可能性があります。本調査は、さらに、受診後の治療のプロセスを震災前後で比較し、震災後に悪化がなかったか、評価します。

### ・研究対象

相双地区において2005年1月1日から2017年11月30日までに、乳がんと診断された女性を対象とします。

### ・研究の方法

診療記録より、後方視的に、年齢や住所などの基本属性、診断病期などの臨床情報、手術の詳細といった治療情報、その他の情報について、データを抽出します。なお、個人の特定を防ぐために、住所に関しては主に小字までの登録とします。

構築されたデータベースをもとに、震災前後で、乳癌女性において、医療機関を受診してから治療が行われるまでの期間に変化があるか評価し、患者因子や社会因子との関連についても分析を加え、大規模災害・原発事故における乳癌患者の管理等について検討を加えます。

### ・個人情報保護について

本研究において用いられる個人情報、南相馬市立総合病院、渡辺病院において、連結不可能匿名化を行われた上で、主たる研究機関である当院へ提供され、管理・保存されます。匿名化されたデータは、南相馬市立総合病院においてのみ、解析されます。

・研究責任者

南相馬市立総合病院

〒975-0033 福島県南相馬市原町区高見町二丁目 54 番地の 6

副院長 外科 大平広道

・参加拒否の自由

参加拒否は自由であり、随時参加の撤回が可能です。それにより不当な医療上の不利益は発生しません。参加拒否をご希望される場合は、下記にご連絡ください。

・お問い合わせ先

南相馬市立総合病院

〒975-0033 福島県南相馬市原町区高見町二丁目 54 番地の 6

副院長 外科 大平広道

地域医療研究センター 客員研究員 尾崎章彦

(公益財団法人ときわ会常磐病院乳腺外科 ・ 福島県立医科大学医学部甲状腺内分泌学講座)

Tel 0244-22-3181